

例会報告：2012年8月28日（晴）第1764回通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

◆ 会長挨拶

小嶋 章司 会長



ロータリーの増強に必ずと言っていいほどロータリアンの質と量がいわれますが、ロータリーは人生の価値を他人への奉仕に置き、そこに生き甲斐を感じる心を入れた中に植え付け育てることを目標としています。集団の力によってあるいは力で社会改良を行おうとするものではありません。

100年以上経て現在約123万人の会員数ということは今日までロータリーが会員の質をきわめて尊重してきた証拠だと思えます。

つい最近までロータリーは、一業種一会員制をとって来ました。一業種一会員制ですとどれだけすぐれた人でも職業分類上そこがふさがっている時は会員になり得ないという量に対する大きな制限がありました。そこで、同一都市にテリトリーを同じくするクラブが新しく出来たわけですが、別に一業種一会員に戻すべきとはいきませんが何かの本に「ロータリアンの質が良くなければ尊重される資格がないが、量においても相当大きなものでなければ力をなすえない、質も量によって保証される」と書いてありましたが確かにその通りだと思えます。その発展の歴史にめざましいものがあります。

ところで日本のロータリーはここでちょっと足踏みをして反省してみる時期がきているのではないのでしょうか。質の高い原石がだいたい集まってきましたそれなのにその原石を磨くことをしてこなかったのではないかと思います。原石探しも大事ですがそれを磨くことに専念すべき時期がきているような気がします。

昔あるタクシー会社の朝礼で「本日何時頃ロータリーの方のお迎えがあります。そそのないよう充分に注意して下さい。」こんなことがちよくちよくあったそうです。今はそのようなことはないそうです。これはタクシー会社の時代の変化と共にお客様は皆平等であるとの考えが変わったからだと思います。

◆ 幹事報告

久保田 知子 幹事



- 1)9月4日、午前11時より定例理事会を開催しますので理事の方はよろしくお願いたします。
- 2)同じく4日の卓話の件ですが卓話が45分になっておりますので例会を15分延長いたします。

◆ 委員会報告

米山記念奨学委員会・・・井上 寛委員長

ご案内の通り米山の寄附には、普通寄附と特別寄附というのがあります。普通寄附は皆様から頂いた会費の中で本会計より一会員5,000円の寄附をしております。それ以外に任意ですが皆様から寄付を頂いておりますが今年度の菅原ガバナーも一人当たり20,000円の寄附をお願いしたいということで要請をしております。来週から10,000円の寄附を徴収させていただきますのでお願い致します。

ローターアクトクラブ報告・・・井上 丈二直前会長

9月の例会の案内をさせていただきます。9月12日は松本会員のイニシエーションスピーチということでウィスキーの話をするということですのでウィスキーの好きな方は是非お越しください。

次に9月23日は宗沢公園の方で清掃をする予定です。9月26日はロータリークラブの小川さんにロンドンオリンピックに行った時のお話をいただけるということですので、是非皆さんお越しください。

◆ 出席報告

柳井 渉 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月28日	48(46)	41	1	91.30%
8月21日	48(44)	37	2	88.64%
8月7日	48(47)	40	1	85.11%

【欠席者】 5名

中村 維孝、西 寛、小林 和彦、上田 博和、菊地 義雄

【今回MU】 1名

上田 博和 (8/23 南熱海RC)

【前回MU】 増加無し

【前々回MU】 増加無し

◆ Table Flower

- ミシマサイコ
- りんどう
- トルコ桔梗
- オランダセダム



「りんどう」の花言葉は「あなたの悲しみに寄りそう」「誠実」「正義」「悲しんでいるときのあなたが好き」「貞節」「淋しい愛情」

※花言葉辞典より転載

http://www.hanakotoba.name/archives/2005/09/post_228.html

◆ 卓話

「会員増強について」

地区会員増強・会員維持委員会委員

小松 雄成 様

(こまつ たけしげ)



まず昨年度と今年度の会員数の状況ですが、前年度当初(23年7月1日)の会員数は2202名でした。今年の6月30日は2184名で18名の純減でした。毎年増強に力を入れているのですが、この8年間毎年減っている状況です。ちなみに2000年の時には地区の会員数は4000名おりました。女性会員を見てみますと、去年

の始めは152人でしたが、現在170名に増えております。クラブの数については今年度32クラブ消滅してしまいます。グループごとに見てみますと。グループで多いのが第6グループ(厚木)でこちらが319名、第5グループ(相模原)310名、3番目は当グループの第9グループで307名です。少ない方では第2グループ(鎌倉)が176名しかいません。そんなところが会員数の現況です。先程3クラブが消滅してしまうとお話しましたが、実は2年前に2度目の会長をしておりました時に湯河原南クラブの解散の時期に重なりました。何とか湯河原南クラブのメンバーにはうちのクラブに移って頂きたいということで色々努力しました。最終的に会員数が8名しかおりました。そのうち湯河原クラブに5名入って頂きました。1名は小田原クラブに移りました。退会したメンバーは2名だけでした。解散は残念でしたが、6名のメンバーが残って頂いたことは自分なりに満足しております。



あと当然のことですが会員の友和を大事にしないといけなと思います。私の年度の時には懇親会と称し夜間例会を4、5回実施しました。あとこれから私が考えていることは、解散前に多くいた元メンバーに対し再入会に対し力を入れたいと思います。

話は変わりますが、6月6日に会員増強のセミナーが藤沢で開催されました。その時に目標を立て現在の状況を分析して、これからどのような面に入れたいか考えていくのですが、その時話に出たことを申し上げたいと思います。

まず一つ目は創立順と会員数の関係です。例えば城北RCの場合創立順は33番目ですが会員数は8番です。逆に私ども湯河原の創立順は一桁ですが会員数は下のほうなのです。ですから私はこ



れに関しては関係が無いと思います。

2番目は人口と会員数です。小田原市の人口が約20万人。委員会で標準的に考えているのは

人口1000人につき会員一人ですので、小田原地区のクラブは200名近くなりますのでクリアしております。

この6月6日には講演会と分科会がおこなわれました。講演会では第2750地区のファストガバナー、RI増強の委員をされている市川伊三夫のお話を伺ったのですが、現在のロータリーの状況を4項目に分けて分析されたお話を頂きました。その中の話で、ロータリーの強みとは地域のリーダーの集まりでステイタスが高い、100年以上の歴史がある、長い青少年交換の歴史もある、米山奨学会もある、職業の多様性を高く保持している。逆に弱み

は、平均年齢が高く退会者が多い。年会費が高すぎる。行事が多すぎる。日本の経済状況が良くない。などを発表されました。ほかのその時の講演の資料は石内委員長にお渡ししましたので関心のある方は見て頂きたいと思えます。



分科会で一番力を入れて話が出たのは、各クラブでクラブ協議会を実施して増強を図って頂きたいということです。戦略的な内容として

- ・年度のリーダー5人衆(会長、幹事、エレクト、副会長、増強委員長)をつくる。
- ・女性会員のパワーを増強に向ける。
- ・会員退会防止のためにベテラン会員が力を入れて欲しいなどができました。

また昨年度から女性会員の集いというのを始めたそうです。これは会員だけでなく会員になって頂けそうな女性も集まって頂いて交流を図る集いです。今年度は11月28日に鎌倉パークホテルで行います。菅原ガバナーは一貫してあくまでもクラブが基本とおっしゃっております。元気で楽しい例会、意義ある奉仕活動が出来るようには会員の増強維持が不可欠ですので会員全員で話し合ってくださいと思います。

